

近畿中国局フォレスターNEWS



林業専用道の視察



国有林と隣接する民有林の踏査

県フォレスター等と連携した活動

広島県、広島北部森林管理署、広島森林管理署のフォレスター等が連携して、今年度計画を樹立する神石高原町森林整備計画（高梁川上流森林計画区）の策定支援を行なっています。

（当ニュース6、8月号を参照ください。）

8月20日には、広島県、神石高原町、神石郡森林組合、広島北部署、広島署が参加して、当地域の効率的な木材生産を考える上での参考とするため、広島北部署が平成25年度に開設した第二新元重山林業専用道（神石高原町：新元重山国有林）を視察し、林業専用道の分散排水や法面が低く抑えられ林内へアクセスし易い状況等の特徴的な構造やコスト等について意見交換を行いました。

その後、国有林と隣接する民有林を踏査し、民有林の集約化と国有林の森林整備や路網整備等と連携する森林共同施業団地化による効率的な森林整備実施の可否について検討を行いました。

広島北部署・広島署は、同町森林整備計画樹立に向けて、県・町・森林組合等と連携を図りながら今後も取組を進めていきます。

技術者育成研修を開講（近畿中国森林管理局）

林野庁では、将来の森林総合監理士となる候補者を育成するための技術者育成研修を実施しています。技術者育成研修には、「中央研修」と各森林管理局が担当する「ブロック研修」があります。

近畿中国森林管理局では、岡山県新見市において、ブロック研修を2回開催しており、今年は第1回目を8月25日～28日に、第2回目を9月15日～18日に4日間ずつの日程で、府県、市町村、森林整備センター、国有林等の職員が計54名受講しました。

受講生は、中央研修で習得した知識・技術を再確認し、現地実習を通じて、公益的機能を踏まえた森づくり構想、広域的な視点からの資源循環利用構想を検討する演習を行いました。

研修最終日は、班ごとに資源循環利用構想（新見市干子地区の林業ビジョン）について取りまとめ、発表を行いました。

受講生からは、「自分の意識改革のきっかけとなった。」、「フォレスターは、長期的な視点、幅広い知識、技術が必要だ。」、「日本型フォレスターは、1人で悩むのではなく、みんなで考えて答えを出していくべきだ。」、「間伐作業における路網整備の重要性がわかった。」等の意見がありました。

（ブロック研修については、当局のホームページをご覧ください。）



資源循環利用構想 現地実習



資源循環利用構想 発表

林野庁
近畿中国森林管理局
技術普及課



国民の森林・国有林

TEL: 06-6881-3524 FAX: 06-6881-2055
URL: <http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>
〒530-0042 大阪市北区天満橋1丁目8-75

編集後記

8月から9月の間に2回の技術者育成研修近畿中国ブロック研修が行われました、

この研修が受講生にとって将来の森林総合監理士となるためのきっかけとなり、森林総合監理士となって地域の森林づくりをリードしていただければと思います。

受講生の皆様の今後のご活躍を祈念いたします。